

## 2 / 10 (水) の発表

報道発表資料の配付日時 2月 10 日 (水) 16時00分

発表項目 (行事名)	厳冬期における避難所環境検証結果について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道主催の厳冬期における避難所環境検証について、次のとおり実施しましたのでお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 検証の趣旨 厳冬期を想定し、学校施設に新型コロナウイルス等の感染症対策を講じた避難所を開設。専門家の指導を受けながら受付手順や避難所環境の留意点等を確認し、その結果を市町村に周知することにより備えに資するため。</li> <li>2 実施日時場所 日時 令和3年1月30日(土)～31日(日) 場所 恵庭市立和光小学校(恵庭市和光町2丁目10-1)</li> <li>3 主催等 主催：北海道、共催：恵庭市 指導・監修：日本赤十字北海道看護大学 根本昌宏教授</li> <li>4 参加者等 北海道、恵庭市職員等 22名</li> <li>5 想定 厳冬期における地震による大規模停電</li> <li>6 検証内容 (1) 殺到する避難者の対応手順 (2) 体育館での暖房と換気 (3) 教室での暖房と換気 (4) 体育館宿泊時の低体温症防止</li> <li>7 今後の取り組み ・検証結果は、本日、市町村へ情報提供、道のホームページに掲示 ・検証状況の動画を2月下旬を目途に配信予定</li> </ol>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	総務部危機対策局危機対策課(担当者:主幹 倉 正治) TEL ダイヤルイン 011-204-5008 内線 22-581		
-------------	---	--	--

## 検証の趣旨

厳冬期における避難所を想定し、学校施設に新型コロナウイルス等の感染症対策を講じた避難所を開設し、専門家の指導を受けながら受付手順や避難所環境の留意点などを確認・検証しました。

## 災害想定：厳冬期における地震による大規模停電

### 検証1

#### 殺到する避難者の対応手順

##### 専門家の指導・課題

- 住民、施設管理者、市町村の連携  
発災直後の迅速な避難所開設には住民の協力は不可欠
- 防災担当以外の職員による避難所開設  
迅速な避難所開設には防災担当以外の職員の訓練が重要
- 最低限の衛生を確保した上での誘導  
マスク着用、手指消毒、世帯間の距離の確保、体調不良者の誘導
- 感染防止のルールの周知  
避難所でのルールの周知と不適切な避難者への協力の声掛けが重要

### 検証2

#### 体育館での暖房と換気

##### 専門家の指導・課題

- 熱交換式ダクトヒーターによる効率的な暖房と換気  
換気を兼ねた屋外設置と室温確保の屋内設置で15℃を確保
- 騒音対策  
屋内設置のダクトヒーターの騒音対策が必要
- 湿度の確保  
氷点下では空気中の水分が少ないため、換気と併せて加湿が必要

### 検証3

#### 教室での暖房と換気

##### 専門家の指導・課題

- ポータブルストーブでの常時換気の限界  
厳冬期での外窓開放の換気は困難
- ポータブルストーブでの室温と換気の両立の難しさ  
温度、湿度、CO2濃度のモニタリングによる環境管理が必要
- 身体の加温資器材との併用  
電気毛布など身体の加温資器材の併用が必要

### 検証4

#### 体育館宿泊時の低体温症防止

##### 専門家の指導・課題

- 就寝資器材の更なる確認  
室温が低い場合でも就寝できる資器材の組み合わせの検討が必要
- 段ボールベッドでの防災マットの活用  
「寒さ」よりも「かたさ」による睡眠への支障
- 毛布と寝袋の併用  
毛布2枚と寝袋併用時の高い保温、断熱性の確認

## 今後の道の取組

1. 検証状況の動画配信（2月下旬予定）
2. 道防災総合訓練等での改善、周知
3. 市町村の防災訓練、研修等への支援、周知